



中間ビジネスレポート

—— 2022年4月1日～2022年9月30日 ——

経営理念

お客さまに喜ばれて、社員も喜ばせる

私たちの事業に関わるすべての方々の幸せを願って
そんな気持ちを、この経営理念に込めています

株主の皆様へ

平素は格別のご愛顧にあずかり厚く御礼申し上げます。
当社の第51期第2四半期累計期間（2022年4月1日から
2022年9月30日まで）の業績につきまして、ご報告申し
上げます。

当社の指標としています正課体育指導契約件数は1,234
園、スポーツクラブ等に参加する会員数は68,268人となり
ました。新型コロナウイルス感染という逆風の中でも、
正課体育指導契約件数は過去最高を更新しました。

その結果、第51期第2四半期における当社の業績は、売
上高3,406百万円（前年同四半期比2.7%増）、経常利益705
百万円（前年同四半期比1.2%増）、四半期純利益485百万
円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

第51期の通期業績につきましては、課外クラブ員の確保
に注力し、業績予想を超えられるよう挑戦し続けてまいり
ます。株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご支援ご指導を賜りま
すよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年12月

幼児活動研究会株式会社
代表取締役社長 **山下孝一**



会社概要・株式情報 (2022年9月30日現在)

会社概要

会社名 幼児活動研究会株式会社
本社住所 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設立 昭和47年(1972年)9月
資本金 5億1,336万円
代表者 代表取締役社長 山下 孝一
従業員数 542名
事業所 北海道、青森、山形、宮城、福島、栃木、群馬、新潟、埼玉、
千葉、東京、神奈川、静岡、山梨、愛知、富山、石川、福井、
長野、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山、広島、福岡、長崎、
鹿児島、沖縄 他

役員

代表取締役 山下 孝一
専務取締役 広田 照彰
取締役 川田 伸
取締役 久賀 満雄
取締役 山下 明子
取締役(社外) 大野 俊一
常勤監査役 川口 弘之
監査役(社外) 山 寄 正 俊
監査役(社外) 曲 渕 博 史

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式総数 11,784,000株
(自己株981,412株を含む)
株主総数 1,548名

大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社山善	3,962,000	36.68
株式会社 UHPartners2	1,085,300	10.05
山下 明子	1,020,160	9.44
光通信株式会社	808,800	7.49
コスモ従業員持株会	614,127	5.68
山下 孝一	304,560	2.82
株式会社 エスアイエル	263,700	2.44
アイザワ証券 株式会社	208,000	1.93
東京中小企業投資 育成株式会社	200,000	1.85
広田照彰	163,600	1.51

(注)上記大株主の状況欄には、当社が保有する自己
株式を除いております。当社は、自己株式を
981,412株所有しており、発行済株式総数に対
する割合は8.33%であります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
株主確定基準日 3月31日
上場市場 東京証券取引所
スタンダード
証券コード 2152
株式の売買単位 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区泉
二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031
(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀
行株式会社の全国本(各)
支店で行っております。
公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむ
を得ない事由によって電
子公告による公告をする
ことができない場合は、
日本経済新聞に掲載する
方法により行います。

当社ホームページにて、決算情報や
各種IR資料などをご覧いただけます。

URL <https://www.youji.co.jp/contents/ir/index.html>

幼児活動 IR 検索

子どもの成長に必要なこと



国難と叫ばれている少子化問題
教育業界が今までに経験したことのない
厳しい環境の時代！

Challenge

チャレンジ!

●児童発達支援療育事業●

運動療育で成功体験を
積み上げる教育



★オンライン小学校★

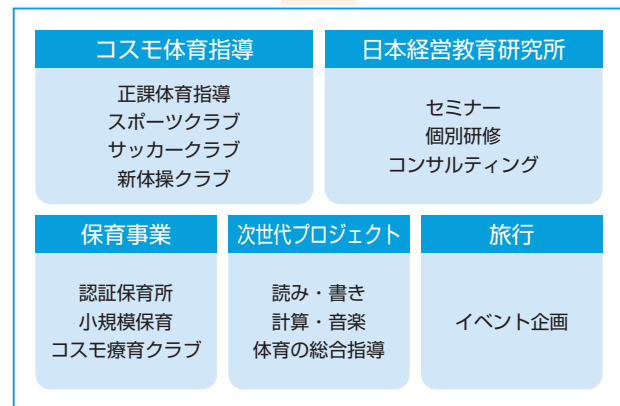
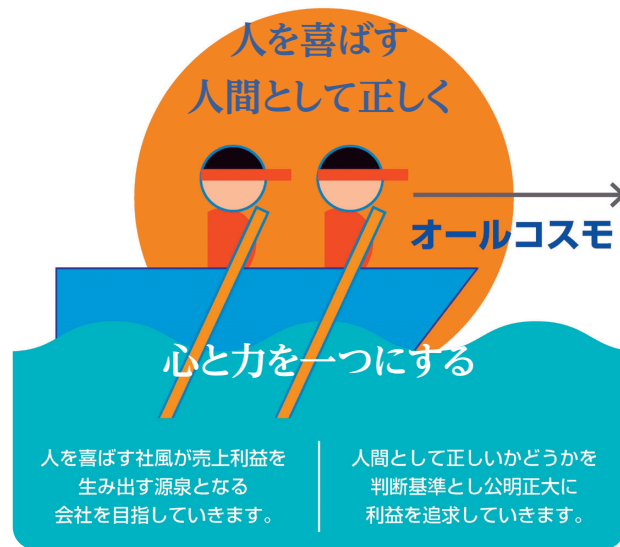
体操で教える道徳教育
体操で心の教育

新規開設
予定



事業の概要

当社は、幼児体育指導関連事業と、コンサルティング関連事業を手掛けております。



幼児体育指導関連事業

正課体育指導 幼稚園・保育園・こども園の発展を願って

当社の創業の原点である正課体育指導では、従業員が体操の先生として幼稚園・保育園・こども園に赴き、保育時間内（正課）に行われる体育の授業を受けもちます。それぞれの園を特色づけるカリキュラムは、保護者が園を選別する際の重要なポイントになります。



課外体育指導

伸び盛りの子供たちは、体育の授業（正課）だけでなく、さらに身体を動かす場を求めます。保育時間終了後（課外）に園の施設を借用して、当社が展開するスポーツクラブ・サッカークラブ・新体操クラブは、子供たちの欲求を満たすべく様々なカリキュラムを用意しています。

子供たちの成長を願って



イベント企画

はじめての経験が与える深い感動を

人格の基本を形成づけるこの時期、普段慣れ親しんだ園の施設を飛び出し、自然や外の世界に触れることで、子供たちの好奇心や感受性はますます研ぎ澄まされていきます。当社が企画するイベントは、子供たち主体の団体行動を通じ、自発力や協調性を育むことにも有効です。



保育事業・次世代プロジェクト

ひとりでも多くの子供たちに、私たちのサービスを

認証保育所や次世代プロジェクト、療育事業の運営を通じて、当社が長い年月をかけて築き上げた実績と経験を、これらの施設に通う地域のお客さまに対して展開しております。新たなビジネスの展開モデルは、より多くの社会のニーズを掘り起こし、次の事業戦略のために役立てられます。



コンサルティング関連事業

幼稚園・保育園・こども園のさらなる発展を願って

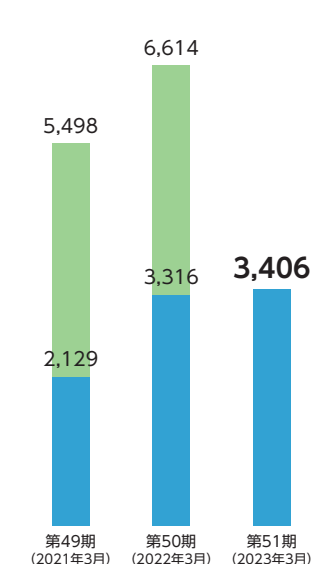
保育から、経営までを総合的に支援するコンサルティング関連事業は、全国の幼稚園・保育園・こども園を数多く知り尽くしたベテラン社員が、園のモチベーションや技量を高めるべく数々のプランやアドバイスを提供しております。



財務ハイライト

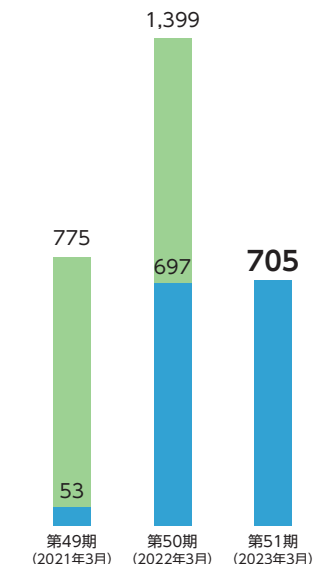
売上高

(百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



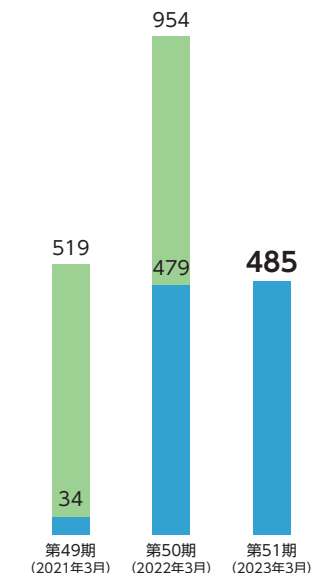
経常利益

(百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



四半期（当期）純利益

(百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



1株当たり四半期（当期）純利益

(円) ■ 第2四半期 ■ 通期

